

1 9 6 5 SHELBY COBRA 427 SEMI-COMPETITION

1:8 SCALE



1960年代にキャロル・シェルビー（伝説のレーシングカードライバーでレーシングカーデザイナー）がデザインしたコブラは、世界中の自動車レースを席巻しました。北米の海岸沿いで開催されてきた名門レースで連勝し、1965年にはGT世界選手権でもチャンピオンとなり、フェラーリを倒すという快挙を成し遂げました。お届けした「シェルビーコブラ427セミコンペティション」は、競技用車両を公道でも走れるように改造したもので、モーターマニアの間では最も人気の高いアメリカンスポーツカーです（生産台数はわずか29台）。本モデルはこの稀少車の細部を忠実にかつ精緻に再現した1:8スケールのコレクターズアイテムです。ダッシュボードのダイヤル類やホイールの文字にいたるまで、すべてのパーツが正確に再現されています。

パック02 | 組立ガイド

ステージ07: オルタネーター

ステージ08: ウォーターポンププーリー、クランクシャフトプーリー、タイミングベルトカバー

ステージ09: 左シリンダーヘッドカバー、エキゾーストマニホールドパイプ

ステージ10: 右シリンダーヘッドカバー、エキゾーストマニホールドパイプ

ステージ11: ロッカーカバー、同キャップ、スパークワイヤーホルダー

ステージ12: ディストリビューター、フューエルフィルター、イグニッションコイル、シリンダーヘッドキャップ

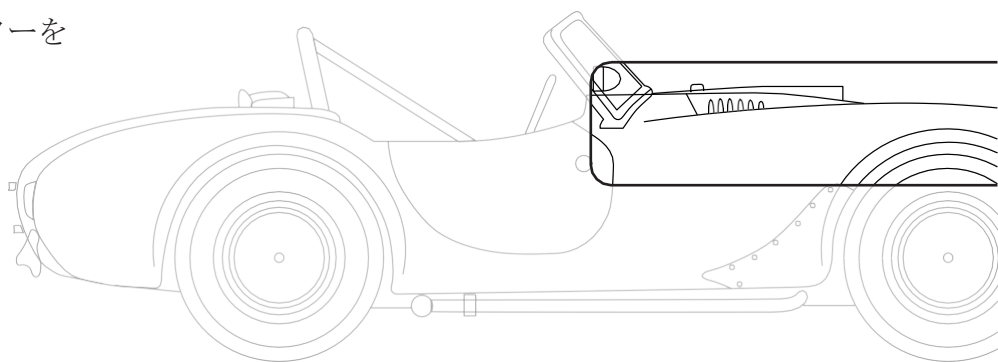
ステージ13: エンジンブロック、冷却水タンクブラケット

ステージ14: フライホイールカバー、ギアボックスインスペクションカバー、ギアボックスロッド

ステージ15: オイルパン、保護プレートス、パークプラグ、スパークワイヤーコネクター、スパークワイヤー

ステージ07：オルタネーター

ステージ07では、ステージ05のオイルフィルターと合わせてオルタネーターを組み立てます。



ステージ07 パーツリスト

名前	数量
オルタネーターハウジング	1
オルタネーターボトム	1
プーリー	1
マウントプレート	1
マウントアーム	1
ネジ OP03	2 (予備1含む)
ネジ OP06	5 (予備1含む)



ステージ07：オルタネーター

STEP 1

オルタネーターの組み立て

オルタネーターとは、発電機のことです。オルタネーターハウジングの2つの突起を、オルタネーターボトム側の穴に合わせて（写真1→2）。プーリーをオルタネーターハウジングの中央の穴に押し込み（写真3→4）オルタネーターボトム側からOP03のネジで固定します（写真5）。



ステージ07：オルタネーター

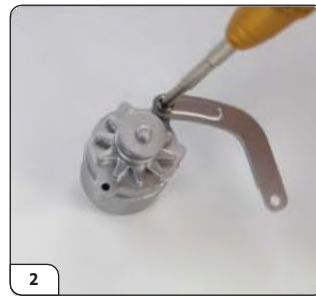
STEP 2

写真1のように、マウントアームとステップ1で組み立てたオルタネーターの穴とを合わせます。このとき部品の向きをしっかりと確認して、OP06のネジで固定してください（写真2）。さらにオルタネーターのもう一つの穴にマウンティングプレートの穴を合わせ、OP06のネジで締め付けすぎないように固定します（写真3→4）。

次にマウントアームとマウンティングプレートの先端部を閉じて、アームの端がプレートの凹部にぴったりとはまるようにします。ここでステージ5で組み立てたオイルフィルターのパーツ取り付けます。赤矢印の穴をオイルフィルターに開けられた2つの穴に合わせてOP06のネジで固定しましょう（写真5→6）。

注意：アドバイス

この行程ではネジ締めが多いため、複数のネジを締める時の鉄則。つまり、最初はすべてのネジを緩めに締めて、位置が決まったら締め増す、ということを忘れずに作業をしましょう。



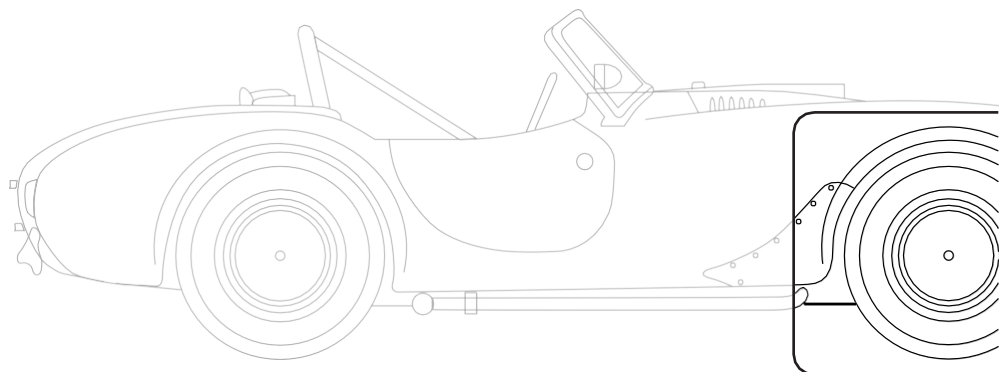
ステージ07：オルタネーター

ステージ07の完了



ステージ08: ウォーターポンププーリー、クランクシャフトプーリー、タイミングベルトカバー

ステージ08では、エンジンの
パーツを組み立てます。



ステージ08 パーツリスト

	名称数量
タイミングベルト	1
ウォーターポンププーリー部品1	11
ウォーターポンププーリー部品 2	1
クランクシャフトプーリー部品1	11
クランクシャフトプーリー部品 2	1
ネジOP05	2 (予備1含む)
ネジOP03	4 (予備1含む)
ネジ OP07	2 (予備1含む)



ステージ08: ウォーターポンププーリー、クランクシャフトプーリー、タイミングベルトカバー

STEP 1

ウォーターポンプとクランクシャフトプーリーの組み立て

2つの突起が上を向くようにウォーターポンププーリー部品1を持ち、ウォーターポンププーリー部品2を合わせます（写真1→2）。うまく収まらない場合は、片方のパーツを180度回転させて、もう一度はめてみてください。うまくはまったらOP05のネジでパーツを固定します（写真3）。クランクシャフトプーリーも同じように合わせて、カチッと音がするまで押し込み、OP03のネジで固定しましょう（写真4→5）。



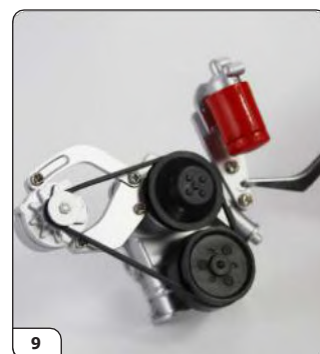
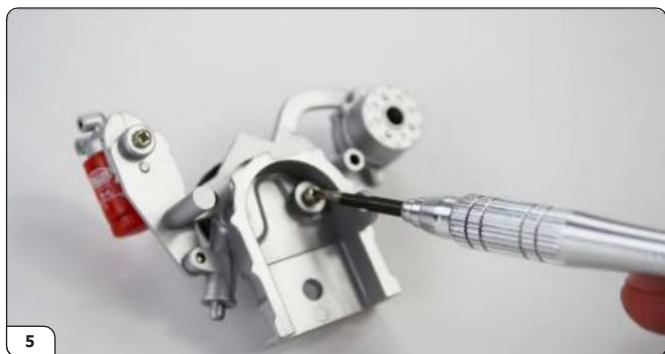
ステージ08: ウォーターポンププーリー、クランクシャフトプーリー、タイミングベルトカバー

STEP 2

プーリーとタイミングベルトの取り付け

ウォーターポンププーリーの突起を、ステージ07で組み立てた部品の穴に合わせ、0P03のネジで固定します。タイミングベルトカバーの穴とアッセンブリーの穴を合わせ、裏側から0P03のネジで固定します（写真1→2→3）。

次にタイミングベルトカバーを赤矢印の穴に合わせ0P07のネジで固定します（写真4→5）。さらにクランクシャフトプーリーを写真6の穴に入れ、固定します（写真7→8）。最後にタイミングベルトを巻き付けます。タイミングベルトは、プーリーの溝にきちんと収まるようにしましょう（写真9）。



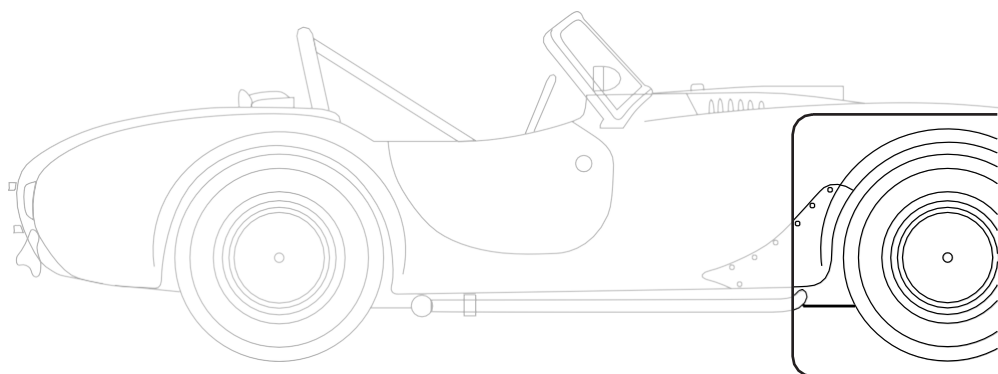
ステージ08: ウォーターポンププーリー、クランクシャフトプーリー、タイミングベルトカバー

ステージ08の完了



ステージ09: 左シリンダーヘッドカバー、エキゾーストマニホールドパイプ

ステージ09では、引き続きエンジンパーツを組み立てます。



ステージ09 パーツリスト

名前	数量
左シリンダーヘッドカバー	1
エキゾーストマニホールドパイプ 1	1
エキゾーストマニホールドパイプ 2	1
エキゾーストマニホールドパイプ 3	1
エキゾーストマニホールドパイプ 4	1

左シリンダーヘッドカバー



エキゾーストマニ
ホールドパイプ1



エキゾーストマニ
ホールドパイプ2



エキゾーストマニ
ホールドパイプ4

エキゾーストマニ
ホールドパイプ3

ステージ09:左シリンダーヘッドカバー、エキゾーストマニホールドパイプ

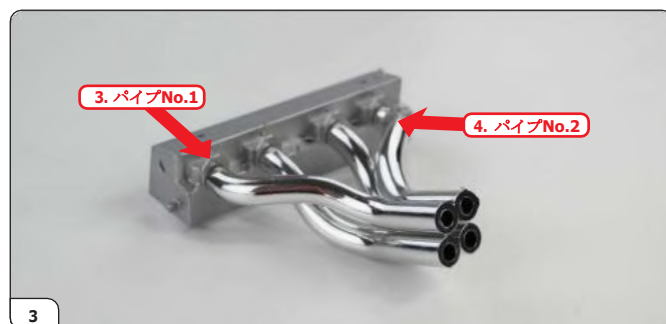
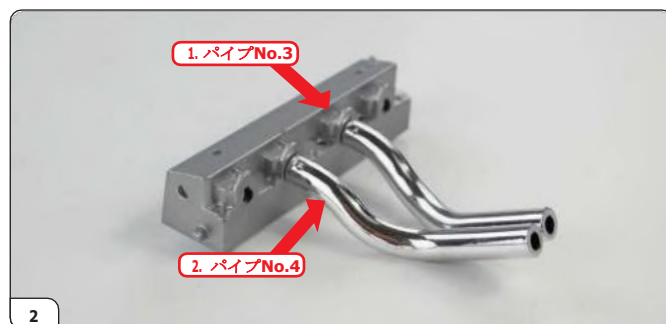
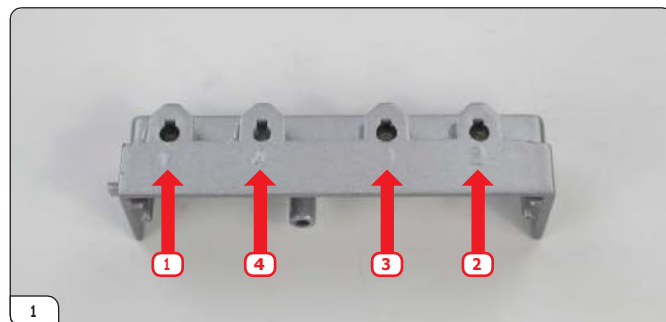
STEP 1

左シリンダーヘッドカバーの組み立て

左シリンダーヘッドカバーには、エキゾーストマニホールドパイプが入る穴が開いています。写真1の赤矢印の番号は、エキゾーストマニホールドパイプに付けられた番号と対応しています。左シリンダーヘッドカバーの穴の番号と同じ番号のエキゾーストマニホールドパイプを、写真2、写真3の頭の番号順にしっかりと押し込んでいきましょう。

注意：アドバイス

パイプが最後まで入らない場合は、押し込む場所の表面を少し削ってください。

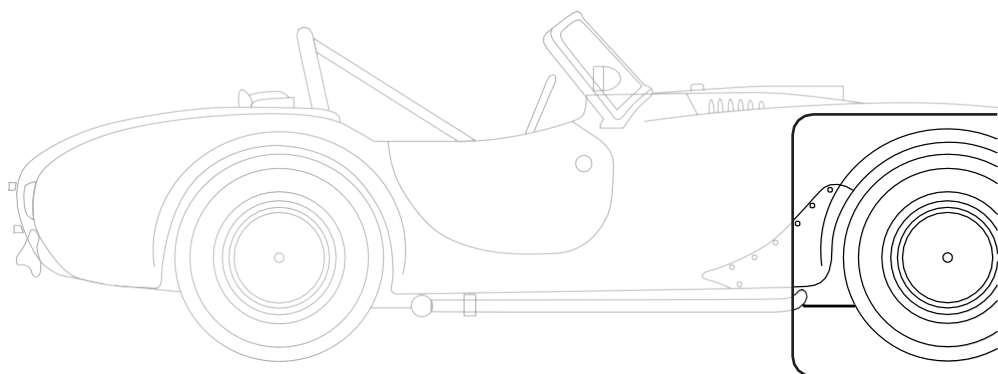


ステージ09の完了



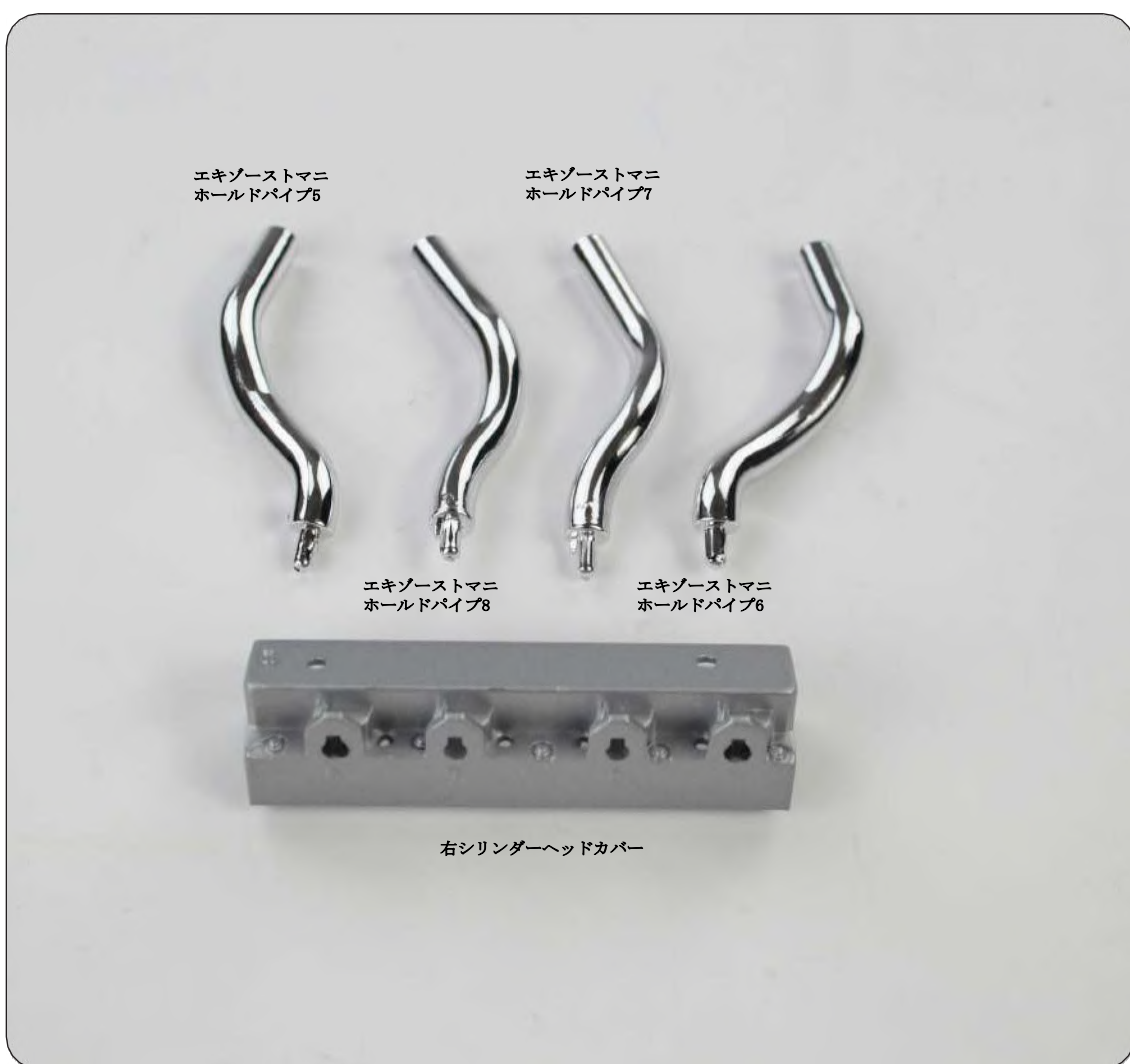
ステージ10:右シリンダーヘッドカバー、エキゾーストマニホールドパイプ

ステージ10では、引き続きエンジンパーツを組み立てます。



ステージ10 パーツリスト

名前	数量
右シリンダーヘッドカバー	1
エキゾーストマニホールドパイプ 5	1
エキゾーストマニホールドパイプ 6	1
エキゾーストマニホールドパイプ 7	1
エキゾーストマニホールドパイプ 8	1

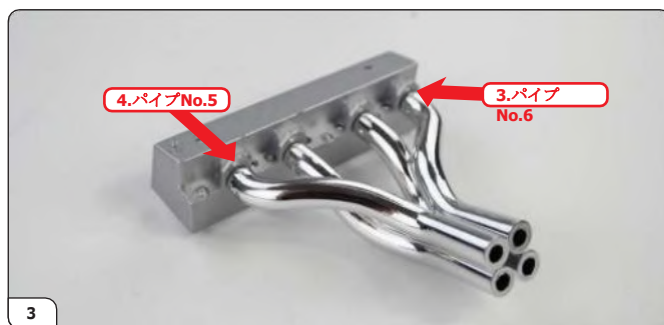
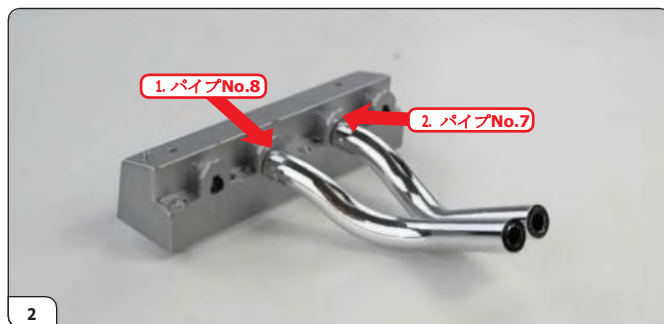
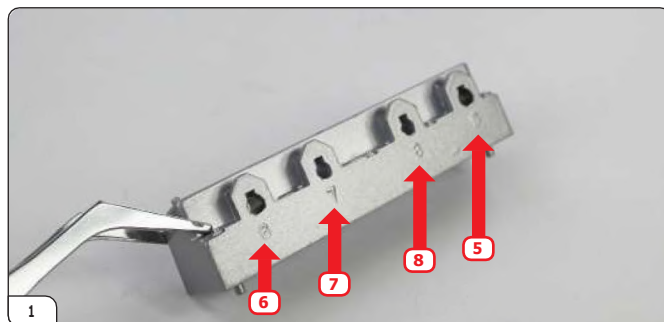


ステージ10: 右シリンダーヘッドカバー、エキゾーストマニホールドパイプ

STEP 1

右シリンダーヘッドの組み立て

右シリンダーヘッドカバーには、エキゾーストマニホールドパイプが入る穴が開いています。ステージ9と工程は同じです。写真1の赤矢印の番号は、エキゾーストマニホールドパイプに付けられた番号と対応しています。右シリンダーヘッドカバーの穴の番号と同じ番号のエキゾーストマニホールドパイプを、写真2、写真3の頭の番号順にしっかりと押し込んでいきましょう。

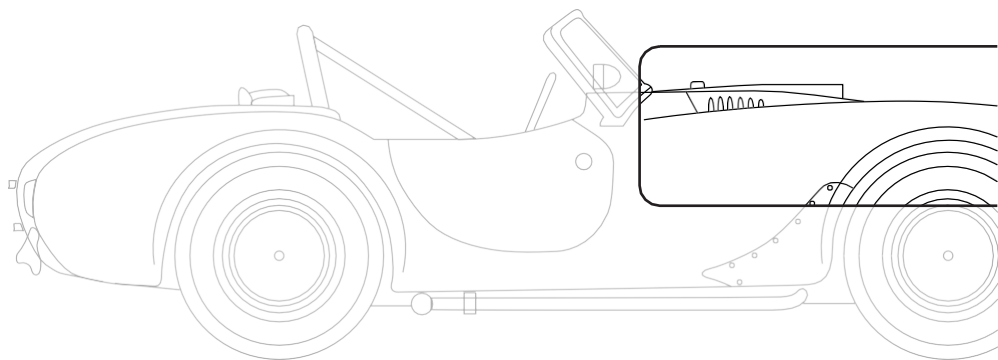


ステージ10の完了



ステージ11:ロッカーカバー、同キャップ、スパークワイヤーホルダー

ステージ11でも、エンジンのパーツを組み立てていきます。



ステージ11 パーツリスト

名前	数量
左ロッカーカバー	1
左ロッカーカバーキャップ	1
左スパークワイヤーホルダー	1
右ロッカーカバー	1
右ロッカーカバーキャップ	1
右スパークワイヤーホルダー	1
ネジOP05	2 (予備1含む)
ネジOP03	5 (予備1含む)



ステージ11:ロッカーカバー、同キャップ、スパークワイヤーホルダー

STEP 1

ロッカーカバーキャップの取り付け

右ロッカーカバーキャップを、右ロッカーカバーの穴に合わせて入れてください（写真1→2）。ネジが通るように、穴が正しい位置に並んでいることを確認して、0P05のネジで固定してください（写真3）。正しく並んでいない場合は、キャップを180度回転させて合わせましょう。次に左ロッカーカバーキャップを取り、左ロッカーカバーの穴に押し込んでください。ネジで止める必要はありません（写真4）。

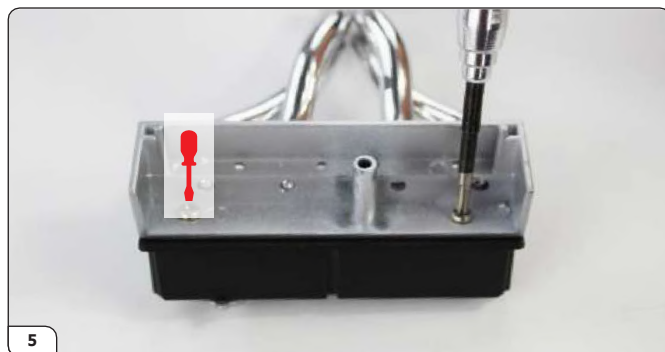
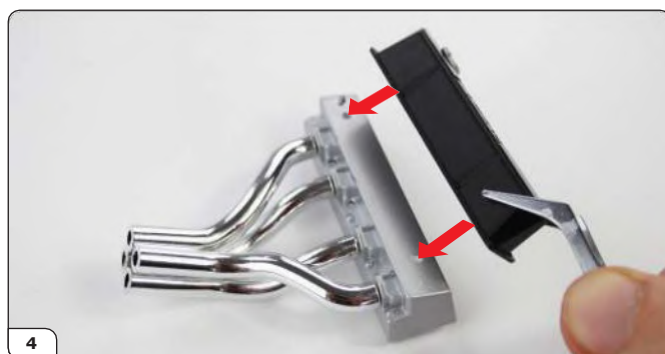
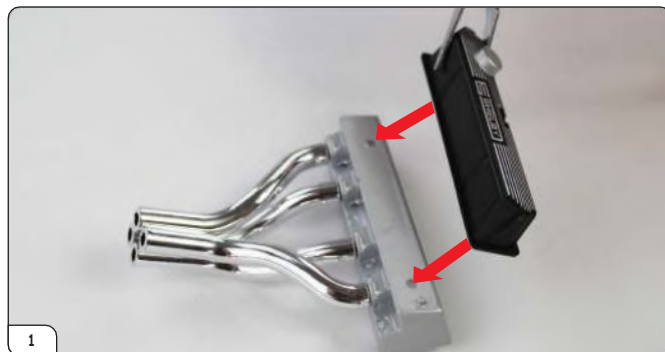


ステージ11:ロッカーカバー、同キャップ、スパークワイヤーホルダー

STEP1

ロッカーカバーを シリンダーヘッドカバーに付ける

左ロッカーカバーをステージ10で組み立てたの左シリンダーヘッドカバーに合わせます(写真1)。左右のロッカーカバーは似ていますが、内側に印に注意してください。パーツを合わせて裏側の穴からOP03のネジで固定します(写真2→3)。ネジを固定するのは2カ所です。右ロッカーカバーも同様にして、右シリンダーヘッドカバーに固定します(写真4→5)。



ステージ11:ロッカーカバー、同キャップ、スパークワイヤーホルダー

STEP 3

スパークワイヤーホルダーの取り付け
写真1のように、スパークワイヤーホルダーを左
ロッカーカバーの所定の位置に押し込みます。ス
パークワイヤーホルダーは、平らな面をシェ
ルビーのロゴ方向に向けてください(写真2)。作
業と右も同じです(写真3→4)。

注意：アドバイス

スパークワイヤーホルダーが挿入しにく
い場合は、ロッカーカバーの溝を先の
尖ったクラフトナイフで削りましょう。

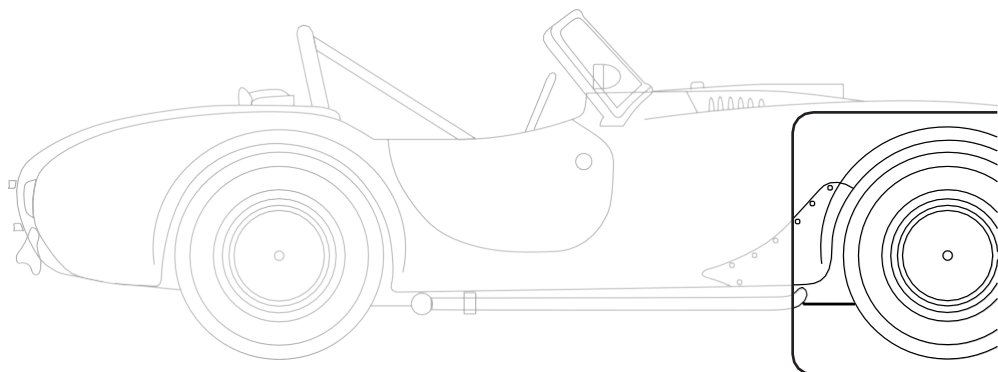


ステージ11の完了



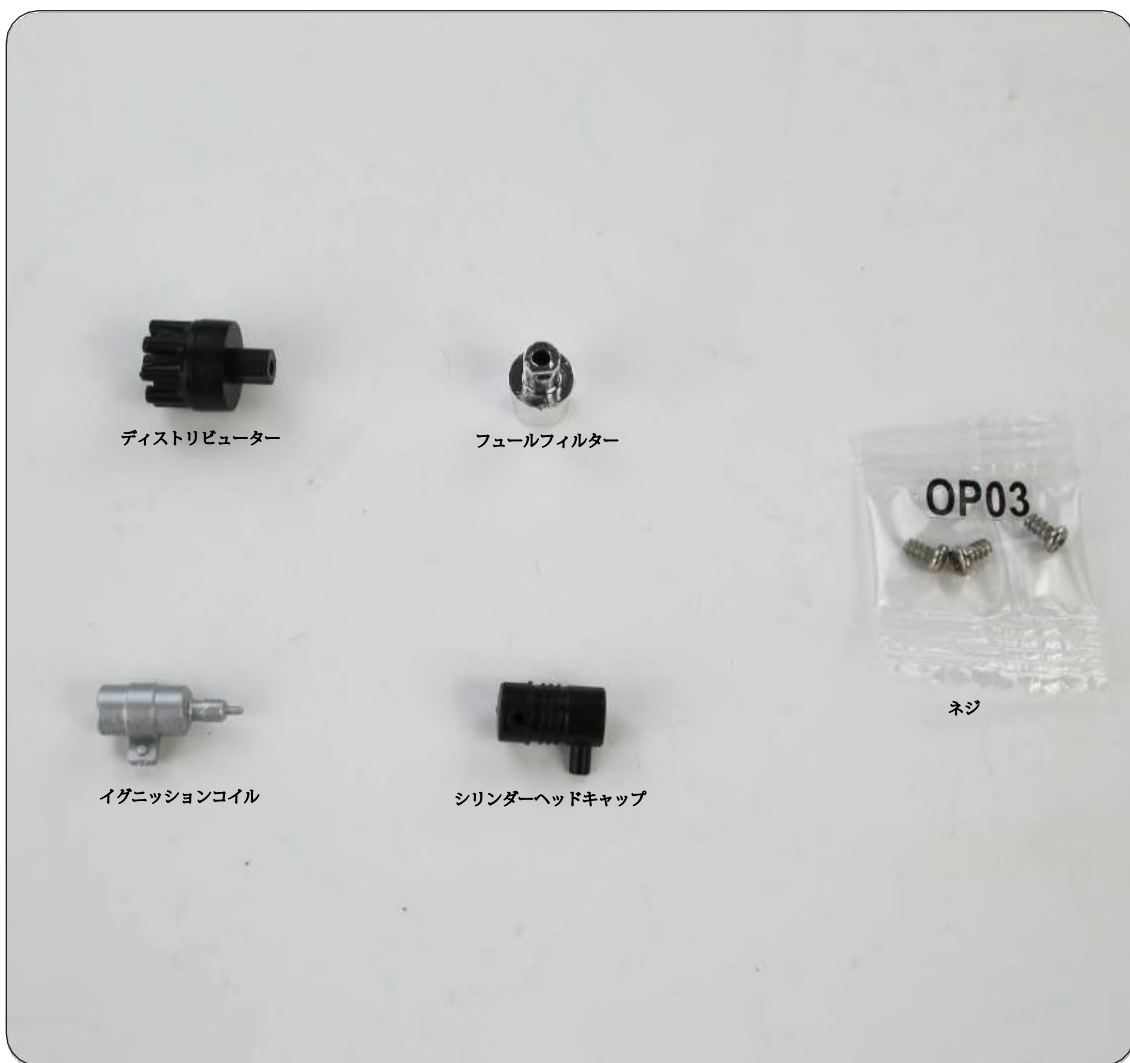
ステージ12:ディストリビューター、フューエルフィルター、イグニッションコイル、シリンダーヘッドキャップ

ステージ12でも、エンジンのパーツを組み立てていきます。



ステージ12 パーツリスト

	名称数量
ディストリビューター	1
イグニッションコイル	1
シリンダーヘッドキャップ	1
フューエルフィルター	1
ネジ OP03	3 (予備1含む)



ディストリビューター

フューエルフィルター

OP03

ネジ

イグニッションコイル

シリンダーヘッドキャップ

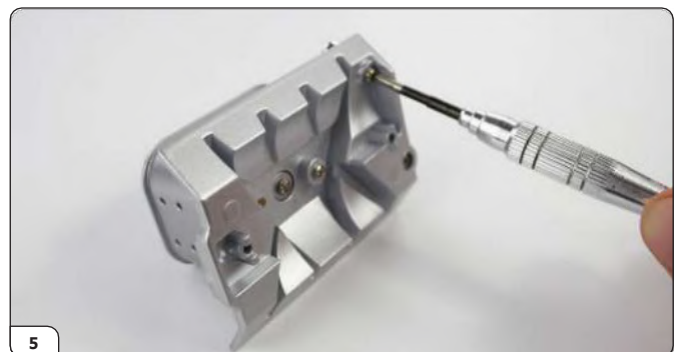
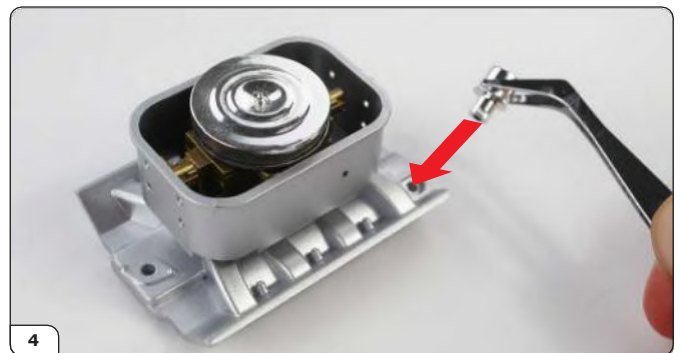
ステージ12: ディストリビューター、フューエルフィルター、イグニッションコイル、シリンダーヘッドキャップ

STEP1

エンジンパーツに 重要な部品を組み込む

ステージ04で組み立てたエンジンのパーツに点火を制御する重要な部品であるディストリビューターを組み込み（写真1→2）、裏からOP03のネジで固定します（写真3）。

同じように燃料を濾過するフューエルフィルターを反対側の角に組み込み（写真4）、裏からOP03のネジで固定します（写真5）。



ステージ12: ディストリビューター、フューエルフィルター、イグニッションコイル、シリンダーヘッドキャップ

STEP 2

左側シリンダーヘッドに イグニッションコイルを付ける

ステージ11で組み立てた左のシリンダーヘッドにシリンダーヘッドキャップを押し込んで固定します（写真1→2）。次にイグニッションコイルをシリンダーヘッドキャップの下に取り付けます。カチッと音がするまで押し込みます（写真3→4）。



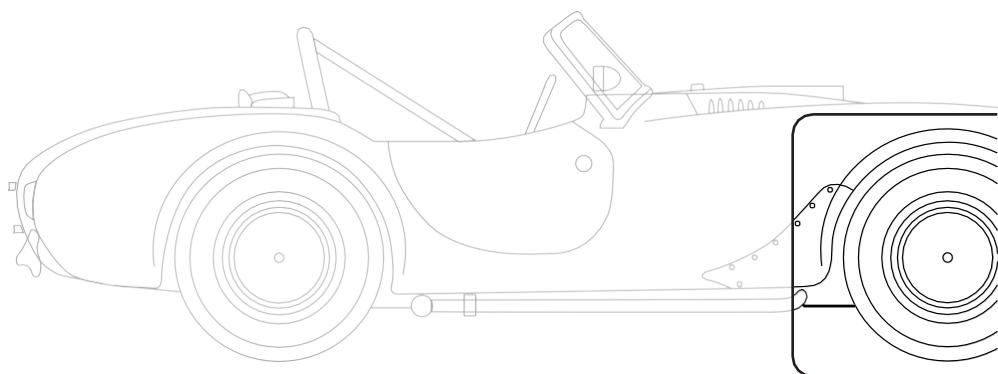
ステージ12:ディストリビューター、フューエルフィルター、
イグニッションコイル、シリンダーヘッドキャップ

ステージ12の完了



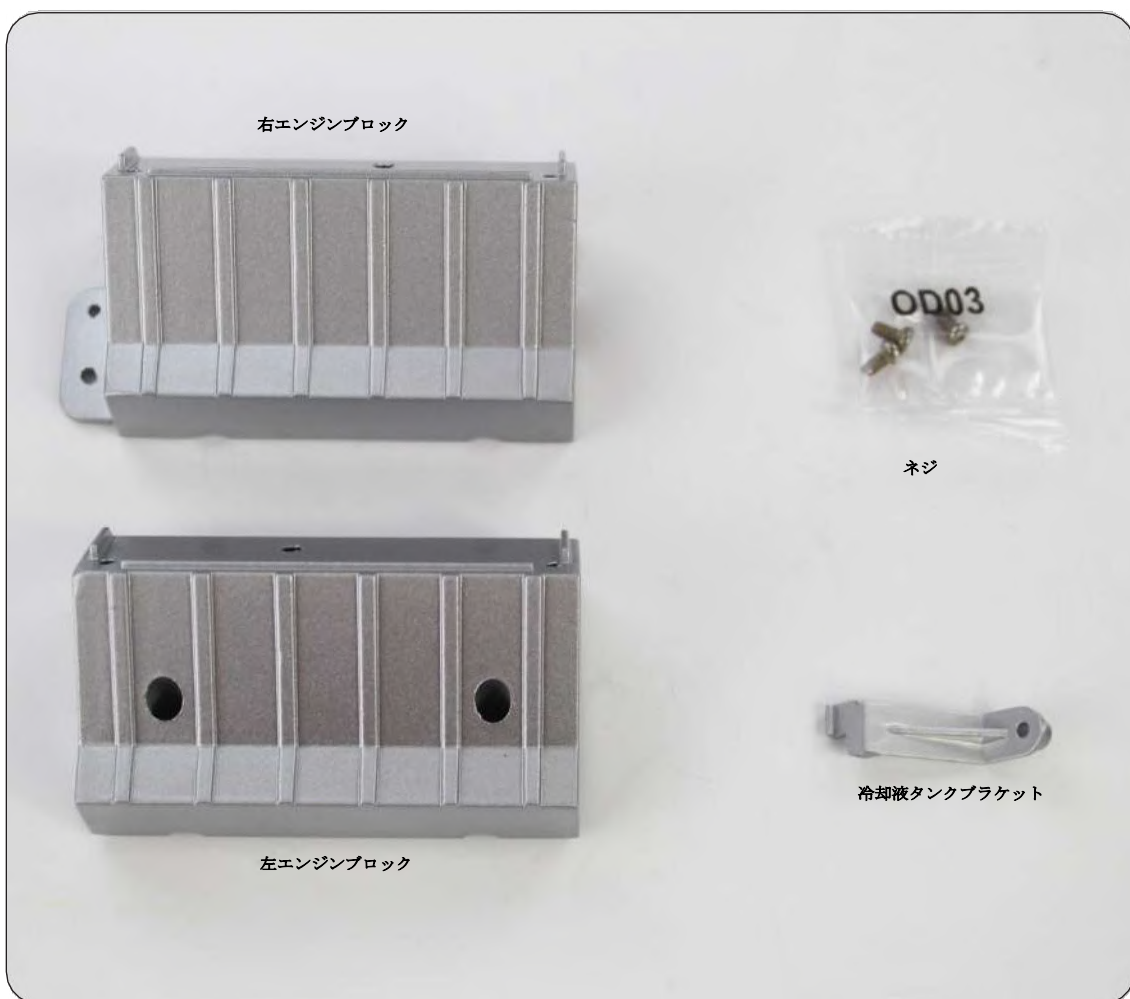
ステージ13:エンジンブロック、冷却水タンクブラケット

ステージ13でも、エンジンの
パーツを組み立てていきます。



ステージ13 パーツリスト

	名称数量
左右のエンジンブロック	各1
冷却液タンクブラケット	1
ネジOD03	3 (予備1含む)



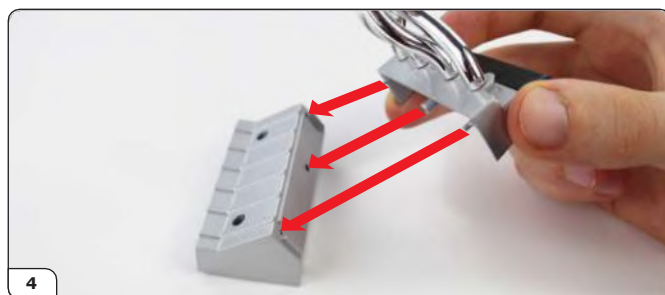
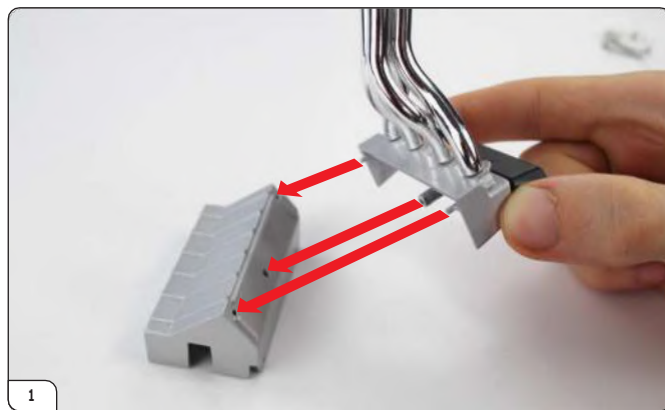
ステージ13:エンジンブロック、冷却水タンクブラケット

STEP 1

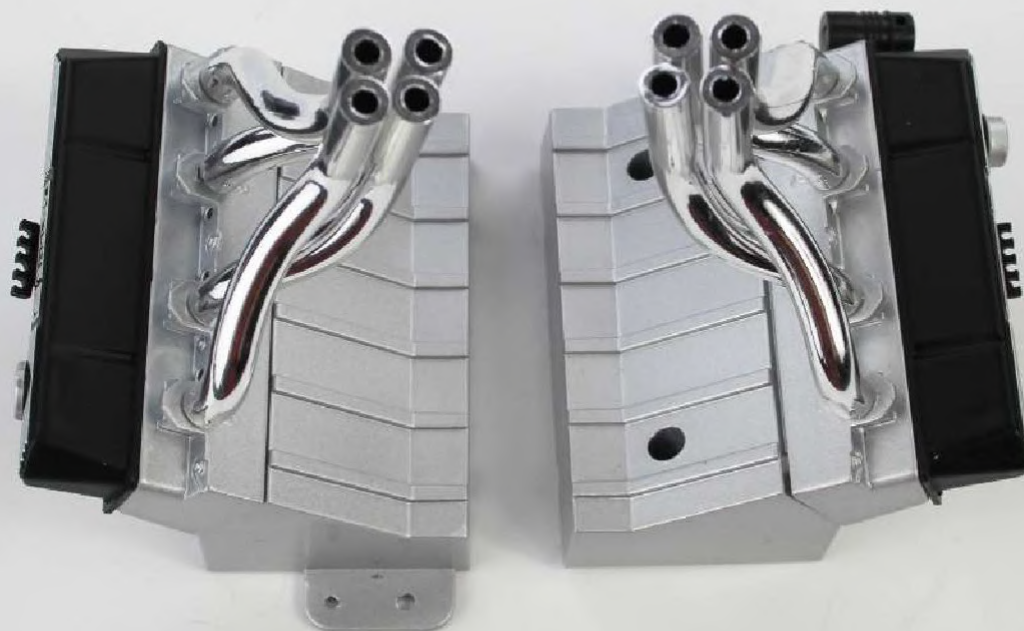
エンジンブロックに シリンダーヘッドを取り付ける

よく似た形状の左右のエンジンブロックは、それぞれの部品の下面にある「L」と「R」の文字で識別できます。

まず、右エンジンブロックをステージ11で組み立てた右シリンダーヘッドに合わせます。3つの穴に対応する突起があるので、そこにはめ込んでください（写真1→2→3）。これを裏からOD03のネジで固定します。左エンジンブロックも同様の手順で右シリンダーヘッドに組み上げます（写真4→5→6）。冷却液タンクブラケットは、後から取り付けます

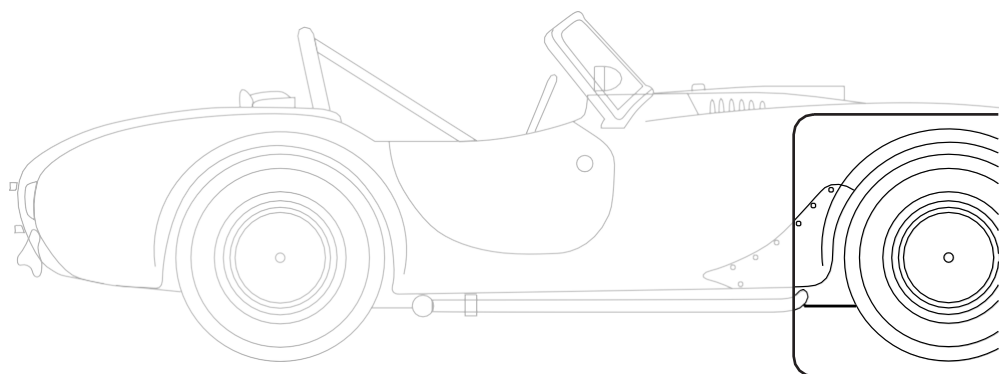


ステージ13の完了



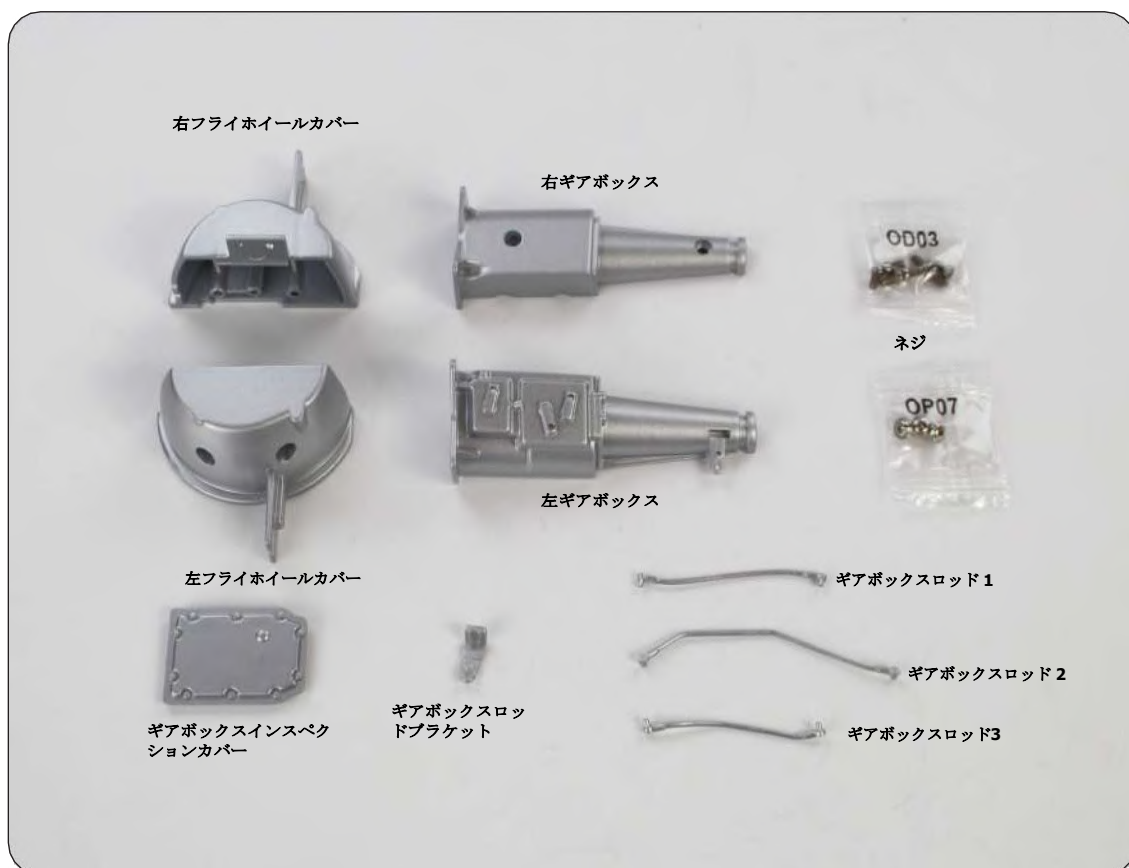
ステージ14: フライホイールカバー、 ギアボックスインスペクションカバー、ギアボックスロッド

ステージ14では、エンジンにギアボックスの部品を追加します。



ステージ14 パーツリスト

名前	数量
左フライホイールカバー	1
右フライホイールカバー	1
左ギアボックス	1
右ギアボックス	1
ギアボックスインスペクションカバー	1
ギアボックスロッド 1	1
ギアボックスロッド 2	1
ギアボックスロッド 3	1
ギアボックスロッドブラケット	1
ネジOD03	7 (予備1含む)
ネジOP07	3 (予備1含む)



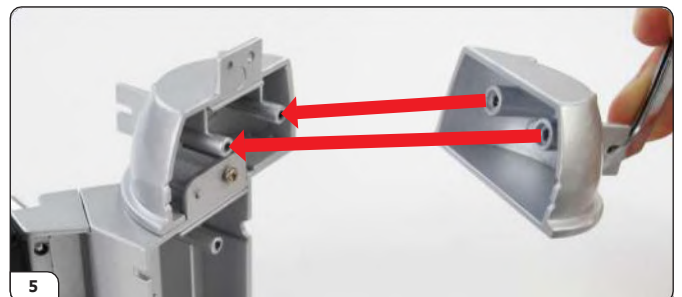
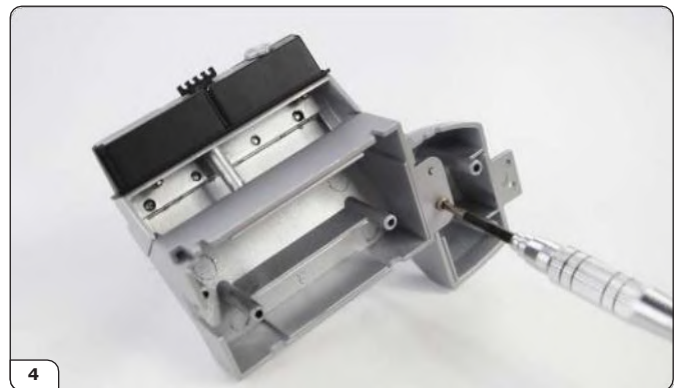
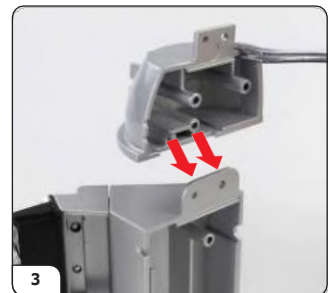
ステージ14: フライホイールカバー、 ギアボックスインスペクションカバー、ギアボックスロッド

STEP1

ギアボックスインスペクションカバー とフライホイールカバーの組み立て

ギアボックスインスペクションカバーの2つの
ネジ穴にOP07のネジ2本を固定する（写真1→2）。
左右のフライホイールカバーは内側にある「L」と
「R」のマークで識別できます。

右フライホイールカバーの突起とネジ穴をス
テージ13で組み立てた右エンジンブロックに合わ
せて、OD03のネジで固定します（写真3→4）。左
フライホイールカバーを右ホイールカバーに合わ
せて、OD03のネジで固定します（写真5→6）。



ステージ14: フライホイールカバー、 ギアボックスインスペクションカバー、ギアボックススロット

STEP2

右ギヤボックスの取り付け

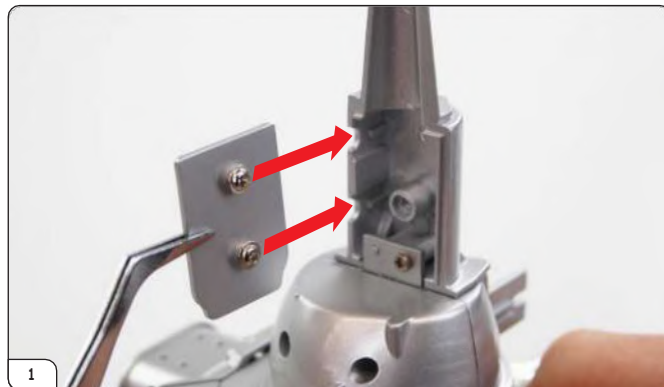
右ギヤボックスを取り付けます。フライホイール車カバーの2つのネジ穴と合わせて、OD03のネジで固定します。ギアボックス内側にある「L」と「R」のマークで識別できます。



STEP3

左ギヤボックスを合わせて ギアボックスを組み立てる

ギアボックスインスペクションカバーのネジを右ギヤボックスの切り欠きに合わせます（写真1→2）。これにはまるように左ギヤボックスを合わせて、2カ所をOD03のネジで固定します（写真3→4）。



ステージ14: フライホイールカバー、 ギアボックスインスペクションカバー、ギアボックスロッド

STEP4

ギアボックスロッドを取り付ける

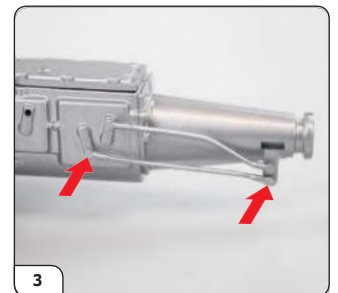
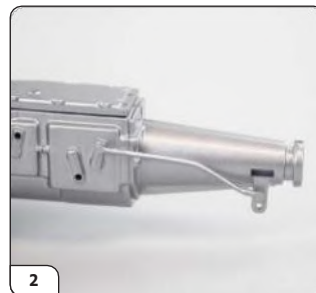
ギアボックスのロッド1、2、3を取り付けます。それぞれ長さや形状（特にカーブ形状）が異なりますので注意してください。

まず、ギアボックスのロッド3の両端を、図のようにギアボックスの小さな穴に入れます。ピンセットを使って押し込むとよいでしょう（写真1→2）。続いてギアボックスロッド1を写真の位置にはめ込みます（写真3）。その上からギアボックスロッドブラケットをスリット状の穴に差し込みます（写真4→5）。

最後にギアボックスのロッド2をギアボックスロッドブラケットの穴とギアボックスの穴に差し込みます。

注意：アドバイス

ギアボックスのロッドが穴の中で緩む場合は、瞬間接着剤を使って固定しましょう。瞬間接着剤は、ごく少量を塗って素早く取り付けるようにします。



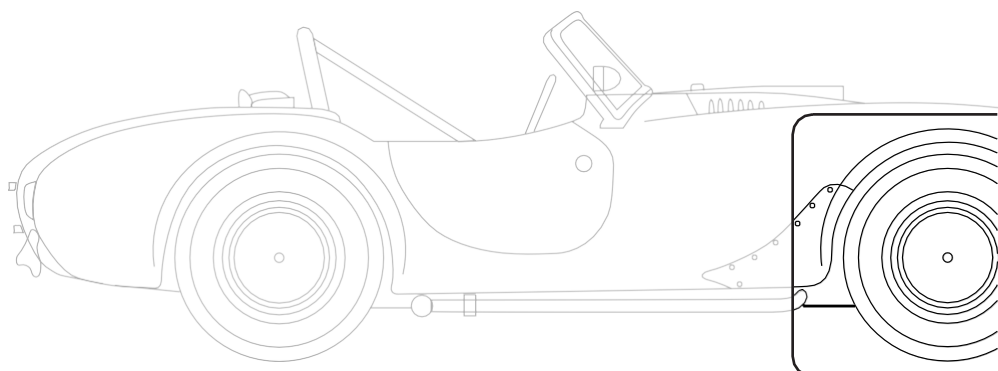
ステージ14:フライホイールカバー、
ギアボックスインスペクションカバー、ギアボックススロッド

ステージ14の完了



ステージ15：オイルパン、保護プレート、スパークプラグ、 スパークワイヤーコネクタ、スパークワイヤー

ステージ15では、エンジンの組立をさらに進め、スパークワイヤーなどを取り付けてディテールをアップさせていきます。



ステージ15 パーツリスト

	名称数量
オイルパン	1
スパークワイヤーコネクタ	1
スパークプラグ	1 (予備1含む)
スパークワイヤー	1
保護プレート	1
ネジ OP07	3 (予備1含む)
ネジ OD04	3 (予備1含む)
ネジ OD03	4 (予備1含む)
ネジ OP03	3 (予備1含む)



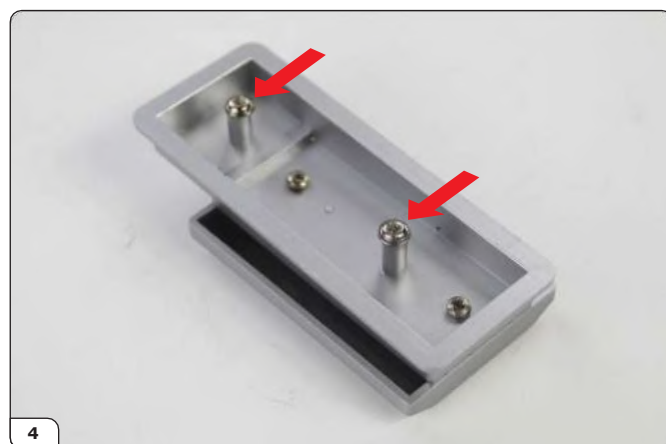
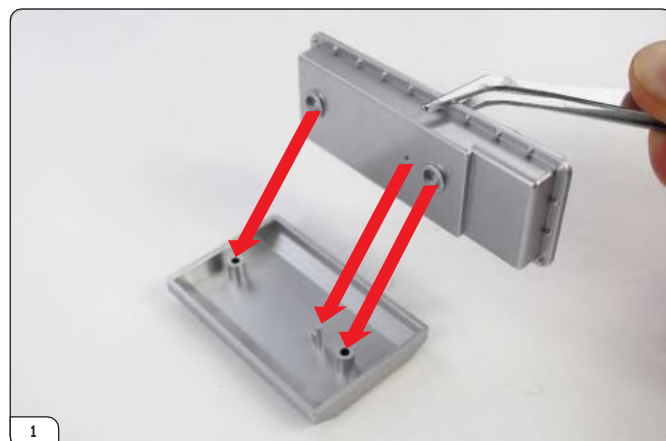
ステージ15：オイルパン、保護プレート、スパークプラグ、 スパークワイヤーコネクター、スパークワイヤー

STEP1

オイルパンと

保護プレートを組み立てる

オイルパンと保護プレートの突起と穴を
写真1のように合わせて、OP03のネジで固
定します（写真2）。保護プレートの突起
状になった2つのネジ穴に OP07をねじ込
みます（写真3→4）。



ステージ15：オイルパン、保護プレート、スパークプラグ、 スパークワイヤーコネクター、スパークワイヤー

STEP 2

エンジンパーツに OD04のネジを2個装着する

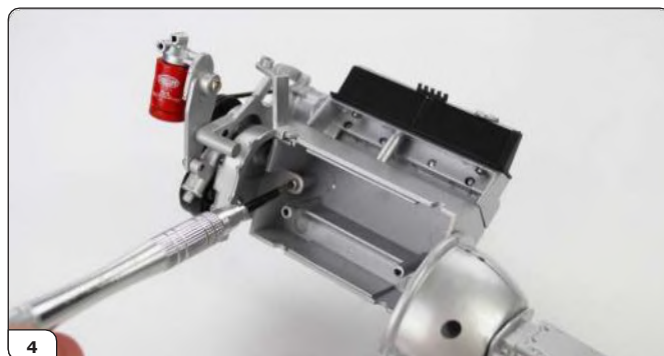
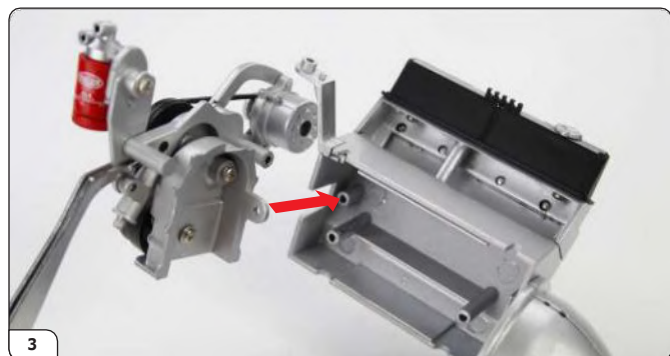
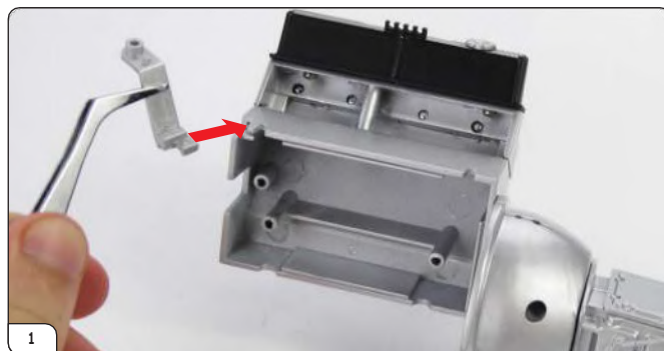
ステージ12で組み立てたエンジン
パーツにOD04のネジを付けます（写
真1→2）。このときまだネジは締め
付けしないでください。このネジは次
のステップでアンカーの役割を果た
します。



STEP 3

右エンジンパーツの組み立て

ステージ14のギアボックスパーツを取り出
し、冷却液タンクブラケットを所定の位置に
はめ込みます（図1→2）。ステージ08のタイ
ミングベルトパーツをこのギアボックスアッ
センブリーに配置し、OD03のネジで固定しま
す（写真3→4）。

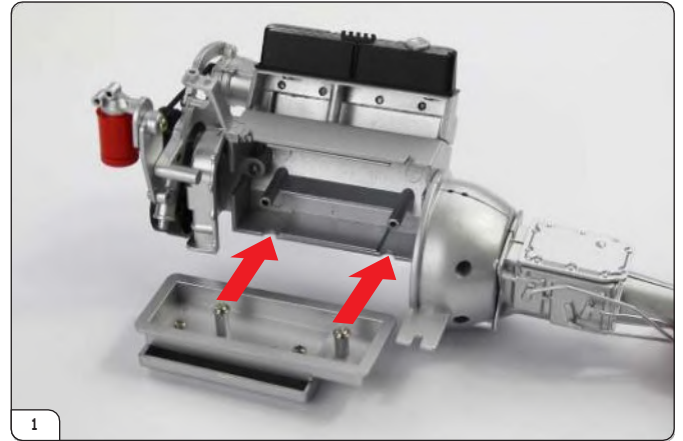


ステージ15：オイルパン、保護プレート、スパークプラグ、 スパークワイヤーコネクター、スパークワイヤー

STEP 4

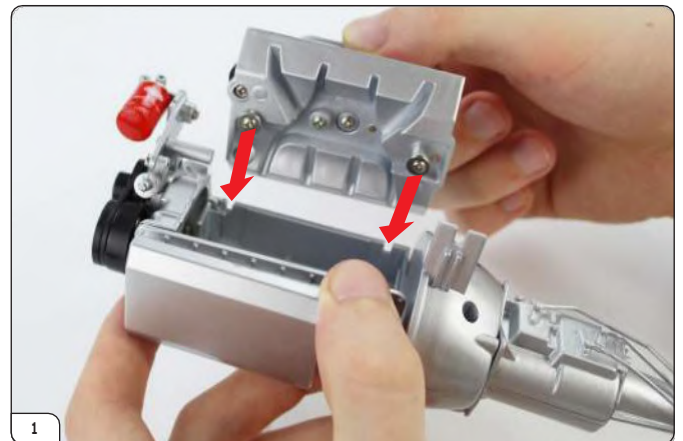
オイルパンと 保護プレートの取り付け

オイルパン組み立て部品をエンジンブロック下側に
スライドさせます。必要に応じて、2本のネジを緩
めて、オイルパン組み立て部品が入りやすくなるよ
うにしましょう。



STEP 5

ステージ15のステップ2で組み立てた
パーツをネジと切れ込みとを合わせて
セットします（写真1→2）。

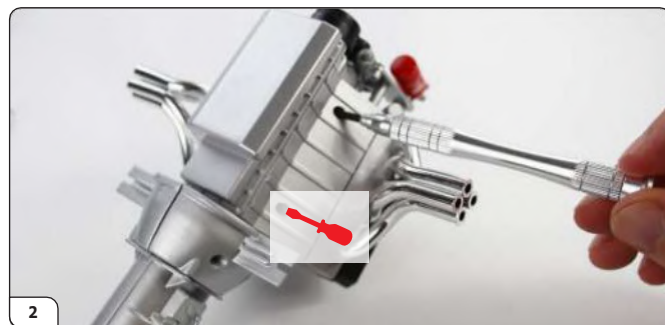
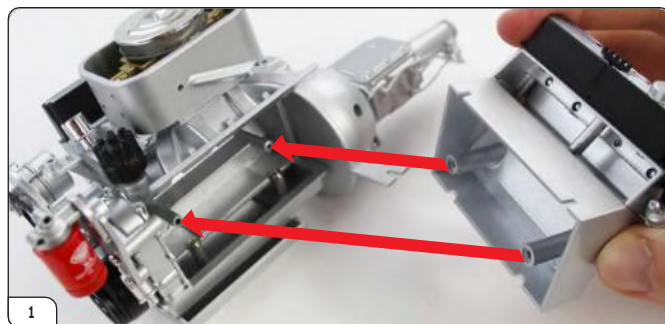


ステージ15：オイルパン、保護プレート、スパークプラグ、 スパークワイヤーコネクター、スパークワイヤー

STEP 6

左エンジンブロックの取り付け

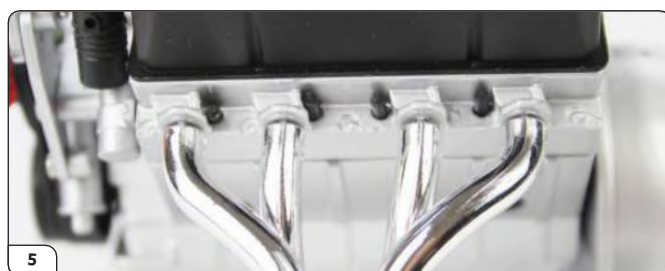
左エンジンブロックとシリンダーヘッドの
パーツを写真1のように合わせて、OD03ネジで
2カ所を固定します（写真1→2）。



STEP 7

スパークプラグの取り付け

スパークプラグとスパークワイヤーコネクター
は似ていますが、長いほうがスパークプラグと
なります。これをカッターナイフなどで、てい
ねいに切り離していきます（写真1→2）。次に
ピンセットを使って、4本のスパークプラグの細
いほうを、排気管の間の4つの穴にカチッと音が
するまで押し込みます（写真3→4）。反対側も
同じ作業を行います（写真5）。



ステージ15：オイルパン、保護プレート、スパークプラグ、 スパークワイヤーコネクタ、スパークワイヤー

STEP 8

スパークワイヤーとコネクタの装着

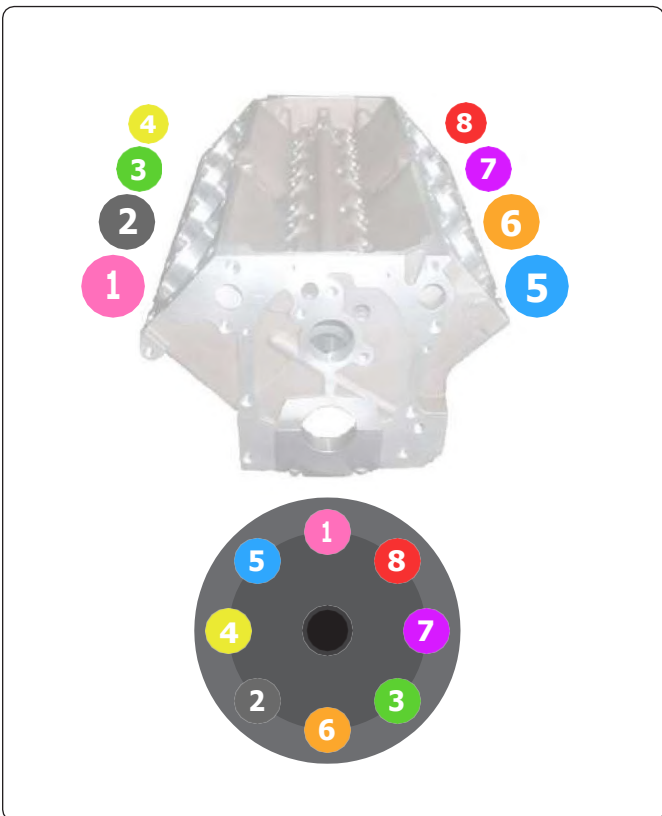
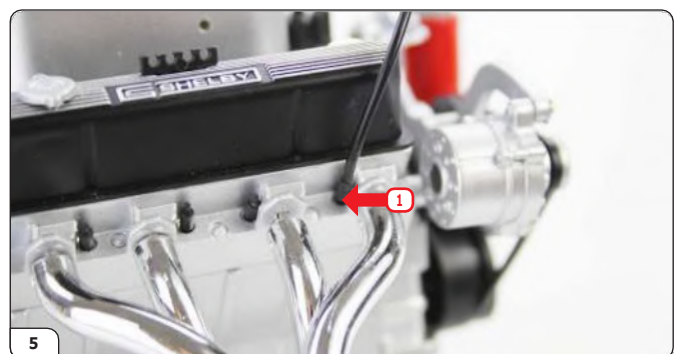
スパークワイヤーのコネクタをカッターナイフなどで、ていねいに切り離していきます（写真1）。次に定規で長さを測って、スパークワイヤーを下記の長さに1本ずつ切りましょう（写真2）。

- | | |
|---------------|---------------|
| ポジション4: 8cm | ポジション8: 6.5cm |
| ポジション3: 8cm | ポジション7: 6.5cm |
| ポジション2: 7.5cm | ポジション6: 7.5cm |
| ポジション1: 8cm | ポジション5: 6.5cm |
- 上記プラス2.5cmを1本

切ったワイヤーの端をスパークプラグのコネクタにねじ込むように押し込みます（写真3）。次にディストリビューターとスパークプラグをスパークワイヤーで結びます（写真4→5）。注意したいのはスパークプラグの位置によって長さが異なること。対応関係は下記の色分けされた図を参考にしてください。番号は切り分けたときのポジション番号となります。写真4と写真5はピンクの色分け部分を結んだ写真です。次の頁で色分けの結線を詳しく解説しています。

注意：アドバイス

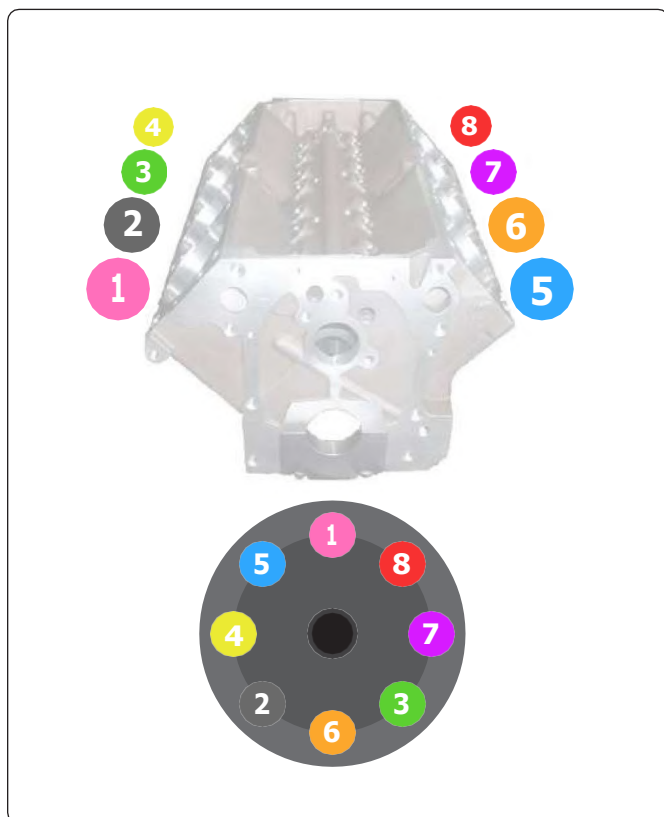
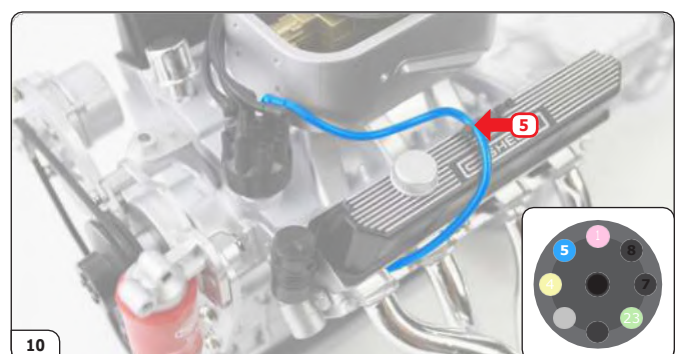
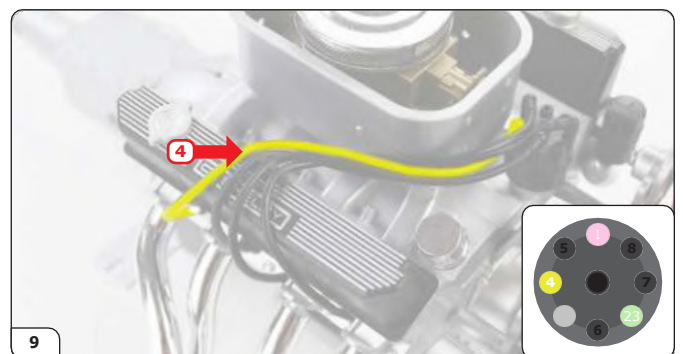
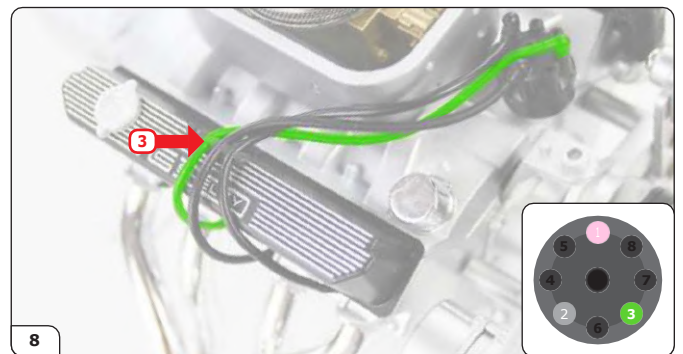
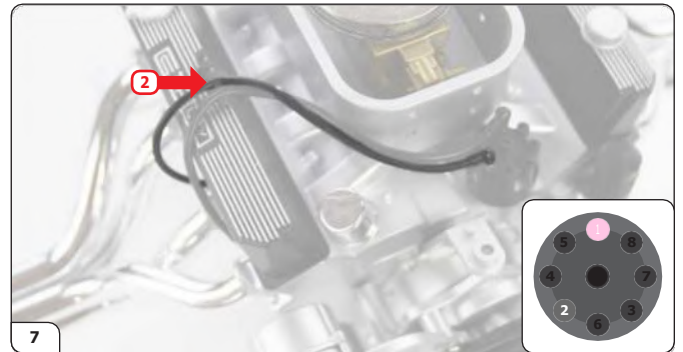
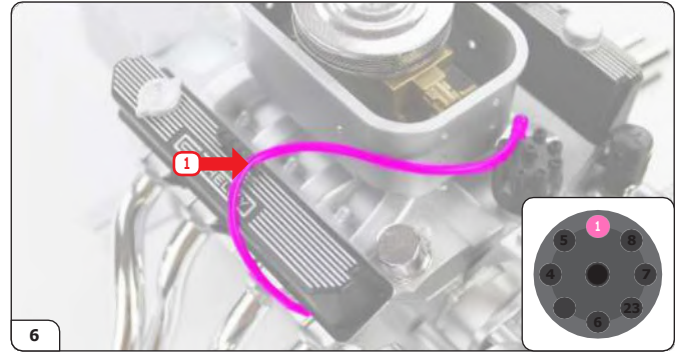
ディストリビューターのコネクタが緩んでいるように見えても気にしないでください。すべてのコネクタが所定の位置に収まれば、うまく固定されるはずです。どうしても緩い場合は少量の瞬間接着剤で固定してください。



ステージ15：オイルパン、保護プレート、スパークプラグ、 スパークワイヤーコネクター、スパークワイヤー

STEP9

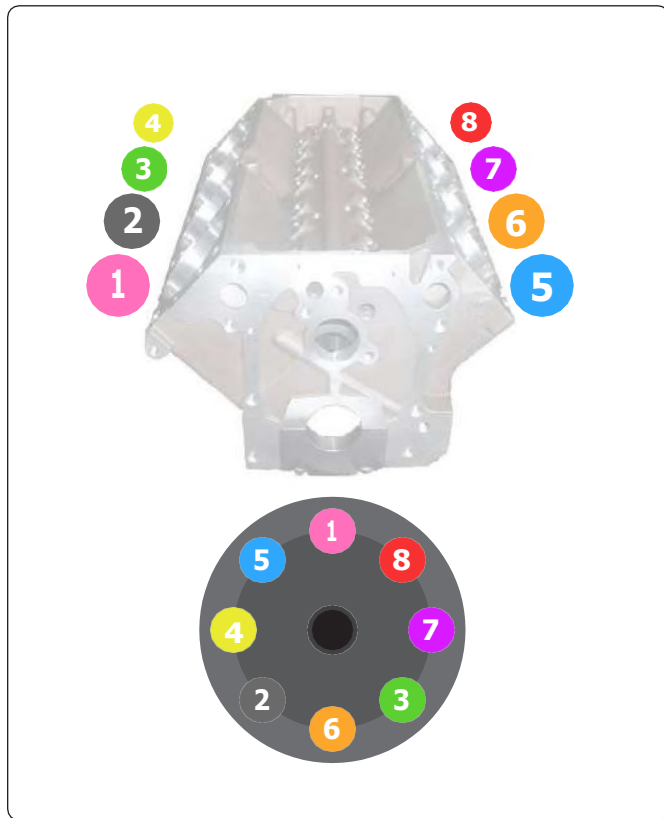
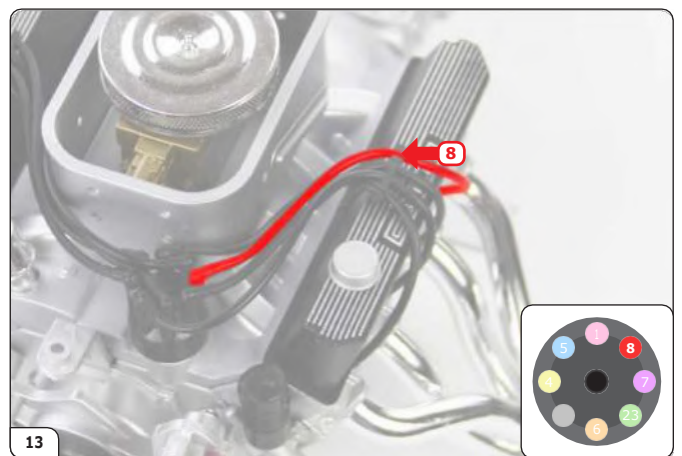
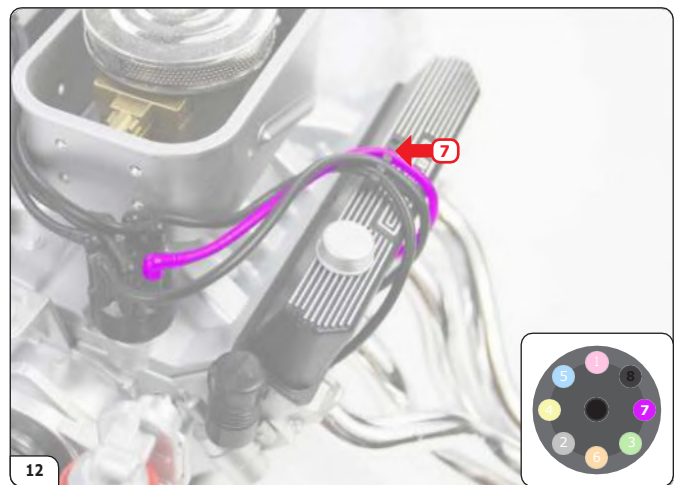
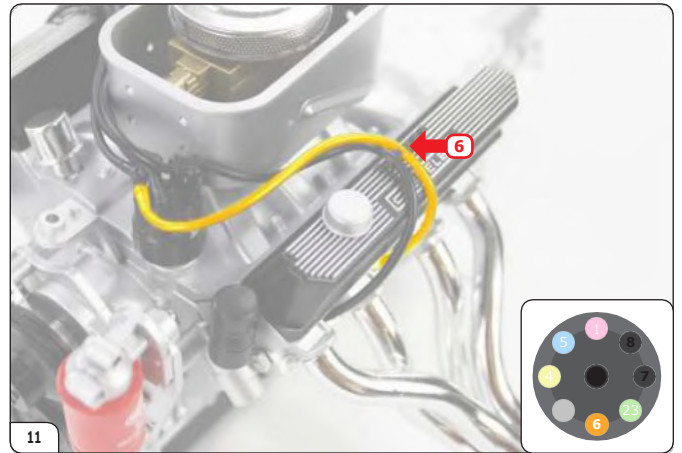
スパークワイヤーの1から5までを結線していきま
す。色分けと番号に注意してください。



ステージ15 : オイルパン、保護プレート、スパークプラグ、 スパークワイヤーコネクター、スパークワイヤー

STEP10

スパークワイヤーの6から8までを結線していきま
す。色分けと番号に注意してください。



STEP 9

最後に一番短く切った2.5cmのワイ
ヤーを写真1のように結線します。



ステージ15：オイルパン、保護プレート、スパークプラグ、
スパークワイヤーコネクター、スパークワイヤー

ステージ15の完了

